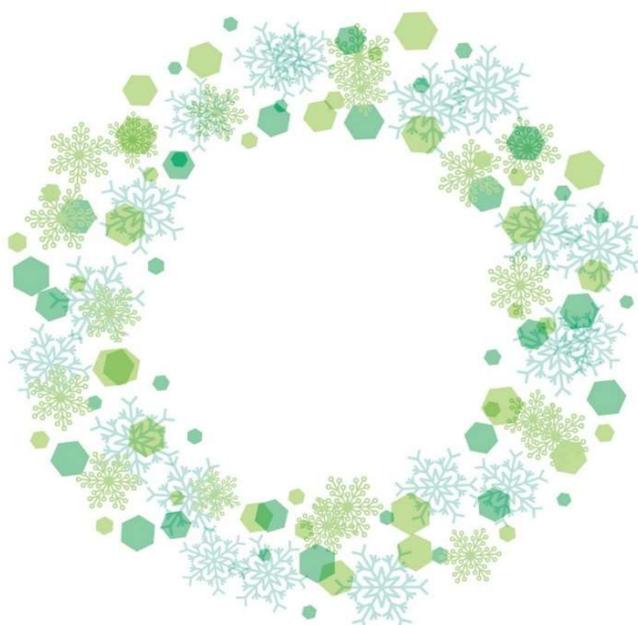


環境経営レポート

(活動期間：2023年11月1日～2024年10月31日)

2024年度



2025年1月7日

信越冷凍機工業株式会社

代表取締役 内藤 正邦

< 目次 >

- 【1】 取組の対象組織・活動
 - (1) 事業活動の概要
 - (2) 認証・登録の対象組織・活動
 - (3) 組織図（実施体制図）

- 【2】 環境経営方針

- 【3】 主な環境負荷の実績

- 【4】 環境目標とその実績

- 【5】 要な環境経営計画の内容

- 【6】 環境経営の取組結果と評価

- 【7】 環境関連法規制の順守状況

- 【8】 代表者による全体の評価と見直し・指示

【1】 取組の対象組織・活動

(1) 事業活動の概要

- (1) 名称及び代表者名
信越冷凍機工業株式会社
代表取締役社長 内藤 正邦
- (2) 所在地
長野県佐久市中込1897-13



- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 内藤 正邦
担当者 内藤 久美子 TEL : 0267-62-1222
- (4) 事業内容
水道設備工事業、管工事業
- (5) 事業の規模

項目	単位	2022年	2023年	2024年
従業員数	人	10	10	11
敷地面積	m ²	111.6	111.6	111.6
売上高	百万円	253	372	387

- (6) 事業年度 11月～10月

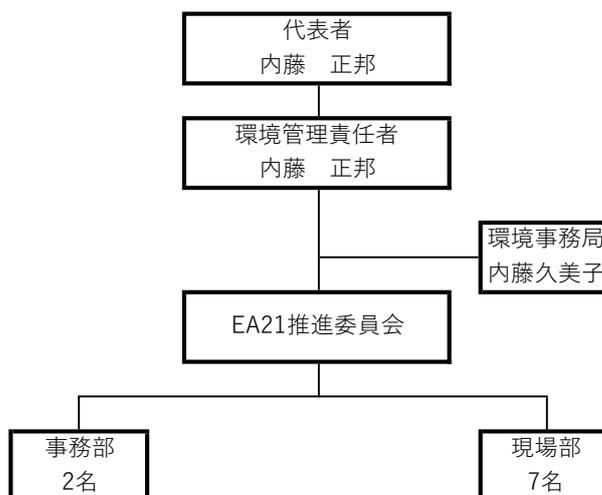
(2) 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：信越冷凍機工業株式会社

活動：水道設備工事業、管工事業

対象範囲：全組織・全活動

(3) 組織図 (実施体制図)



担当者	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準 環境管理責任者を任命 環境経営の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理、 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境経営目標・環境活動計画書を確認 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境経営の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開 (事務所に備付けと地域事務局への送付)
事務部 現場部	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施 環境経営方針の周知 従業員に対する教育訓練の実施 環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

【2】 環境経営方針

当社は環境問題を経営の重要課題のひとつとし、環境保全に対し全社員で自主的・積極的継続的に取組を致します。

- 1 環境関連の法令、条例及びその他の協定事項を遵守します。
- 2 省エネルギー・再資源化に配慮した事業活動及び製品サービスを展開します。
電気使用量・燃料使用量の削減に取り組めます。
- 3 廃棄物の分別徹底による排出削減・材料等の再利用に取り組めます。
- 4 水使用量の削減に取り組めます。
- 5 環境に配慮した製品販売・施工等
- 6 化学物質使用量の削減に取り組めます。



制定日 2011年3月1日

改定日 2023年2月8日

信越冷凍機工業株式会社

代表取締役 内藤 正邦

【3】 主な環境負荷の実績

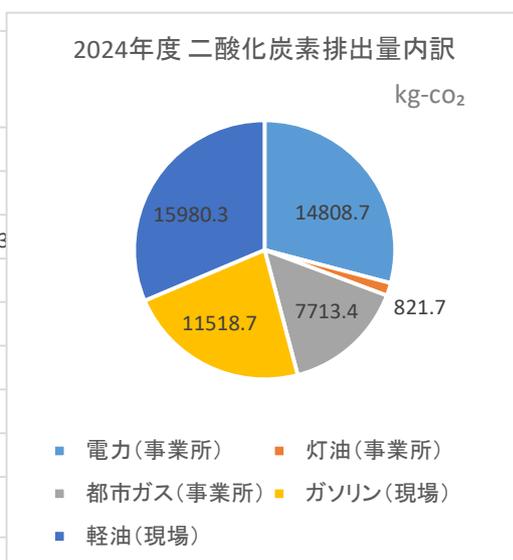
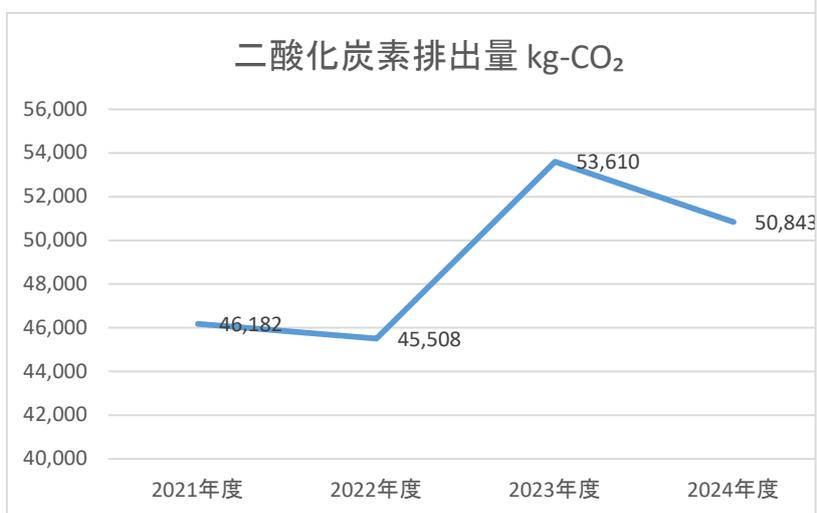
注：事業年度=11月～10月

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	二酸化炭素排出量内訳
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	46,182	45,508	53,610	50,843	(kg-CO ₂)
電力（事業所）	kWh	23,993	25,036	28,910	32,263	14808.7
灯油（事業所）	ℓ	757	635	626	330	821.7
都市ガス（事業所）	Nm ³	3,240	3,853	3,863	3,571	7713.4
ガソリン（現場）	ℓ	5,077	4,135	5,985	4,965	11518.7
軽油（現場）	ℓ	5,930	6,404	6,416	6,194	15980.3

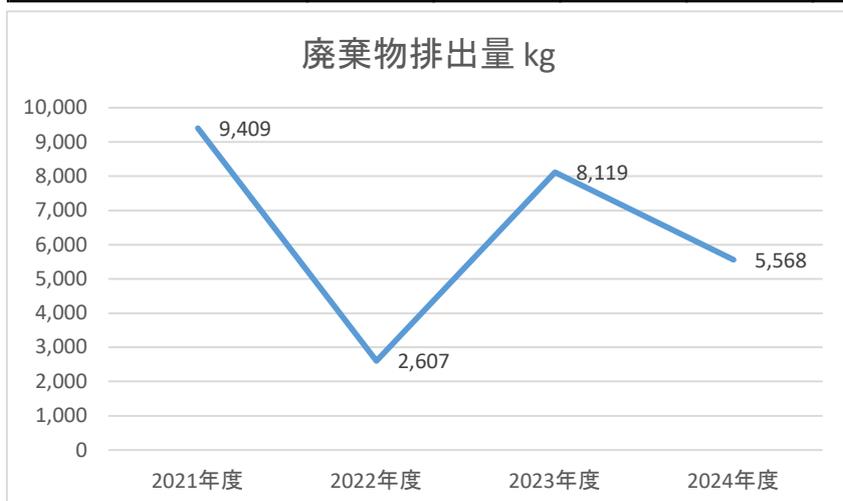
二酸化炭素排出係数：2021年度 中部電力 2019年度0.426 (kg-CO₂/kWh) 使用

二酸化炭素排出係数：2022年度 中部電力 2022年度0.379 (kg-CO₂/kWh) 使用

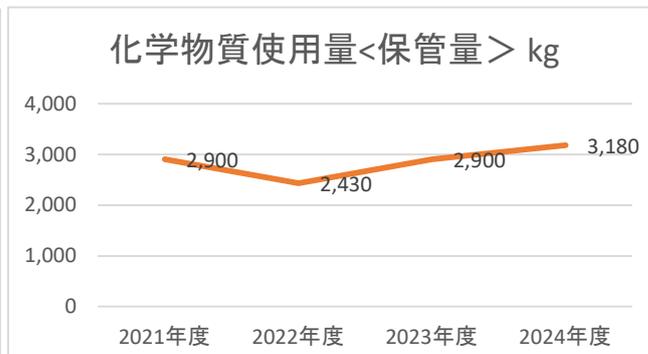
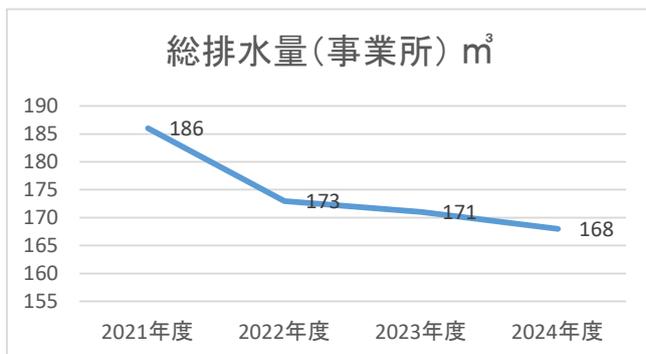
二酸化炭素排出係数：2023～2024年度 中部電力 2023年度0.459 (kg-CO₂/kWh) 使用



項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
廃棄物排出量	kg	9,409	2,607	8,119	5,568
一般廃棄物（事業所）	kg	1,732	2,207	1,325	1,129
産業廃棄物（現場）	kg	7,677	400	6,794	4,439



項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総排水量（事業所）	m ³	186	173	171	168
化学物質使用量<保管量>	kg	2,900	2,430	2,900	3,180



【4】環境経営目標とその実績

（1）事業所の活動

項目	単位	2023年度	2024年度		2025年度	2026年度	
		(基準年)	目標	実績	目標	目標	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	53,610	53,074	50,843	53,074	53,074	
電力の削減	kWh	28,910	28,620	32,263	28,620	28,620	
一般廃棄物	kg	1,325	1,312	1,129	1,312	1,312	
節水	m ³	171	169	168	169	169	
化学物質	適正管理	適正管理	適正管理	3,180	適正管理	適正管理	(保管量)

注：二酸化炭素排出量は事業所及び建設現場等の合計で示す。

（2）建設現場等の活動

項目	単位	2023年度	2024年度		2025年度	2026年度
		(基準年)	目標	実績	目標	目標
ガソリン	ℓ/年	5,985	5,925	4,965	5,236	5,236
軽油	ℓ/年	6,416	6,352	6,194	6,257	6,257
産業廃棄物	kg/年	6,794	6,726	4,439	6,439	6,439
省エネ工事の受注	件/年	96	105	90	105	105

・会社周辺の清掃は6月に実施する。

・3S活動の推進

作業現場の効率を向上させ施工品質の向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組む。

(3) 2024年度環境経営目標内容

項目	環境目標項目	(基準年度) 基準値	2024年度
省 エ ネ 排 に 出 よ 量 削 二 減 酸 化 炭	電気使用の二酸化 炭素排出量削減	2023年 28910 k w h	99% (1%削減) 13137 k g-CO ₂
		13270 k g-CO ₂ 二酸化炭素排出係数 0.459	室内不在時、昼休時消灯 使用外のIT機器電源OFF エアコン (冷房28°C、暖房20°C) 外気の室内取込み フィルター清掃
	車両燃料使用の二 酸化炭素排出量削 減	2023年 ガソリン 5985 ℓ	99% (1%削減) 39937 k g-CO ₂
		軽油 6416 ℓ 灯油 626 ℓ 都市ガス 3863N ^m 40341 k g-CO ₂	アイドリングストップ 急発進・急停車を控える 法定速度遵守 タイヤ空気圧の適正管理
廃 棄 物 の 削 減	事業系一般廃棄物 事務所 内廃棄物	2023年 1325Kg	99% (1%削減) 1312 k g
			廃棄物の分別徹底 紙類 廃プラ (ペットボトル等) 陶器・ガラス破片 金属類
	産業廃棄物 建 設現場廃棄物	2023年 6794Kg	99% (1%削減) 6726 k g
			廃棄物の分別徹底 マニフェスト管理徹底 資材の再利用、リサイクル化
節 水	水使用量削減	2023年 171m ³	99% (1%削減) 169m ³
			節水の呼びかけ 配管漏水の定期的点検
環 現 境 場 配 で 慮 の	工事現場での環境 配慮製品・施工	2023年 26件	110% 106件
			省エネ商品販売 省エネ設計提案 再生資源積極的利用 環境に優しい施工採用
質 化 減 の 学 削 物	PRTR法該当する物 質を含む資材・溶剤 の適正管理	2023年 適正管理	現状把握 適正管理
			資材の環境配慮型移行 溶剤の環境配慮型移行 溶剤、塗料の揮発防止

【5】 主要な環境経営活動計画の内容

取組項目		活動計画の内容	判定
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	・ エアコンの温度設定 事務所：冷房 28℃、暖房 20℃ ・ エアコンフィルターの定期清掃 ・ 照明器具の定期清掃 ・ 省エネタイプの蛍光灯への切り替え ・ 未使用時の電源・電灯消灯	○
	車両燃料の削減	・ 不使用時のエンジン停止の徹底 ・ 低燃費車優先使用 ・ 効率的なルートで配送	○
廃棄物削減	一般廃棄物排出量削減	・ 書類作成時の1枚ベスト・2枚ペター指導 ・ 両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減	○
	産業廃棄物排出量削減	・ 3S活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進 ・ 分別徹底とリサイクル	○
水使用の削減		・ 節水ラベル貼付	○
省エネ工事の受注		・ パンフレットの整備と営業担当の教育	○
化学物質使用量		・ 適正管理	○

良く出来た○、普通△、出来なかった×

【6】 環境経営の取組結果の評価

(1)取組結果と評価

取組項目	基準年 2023年	取組結果 (2024年)		評価	次年度の取組	評価/指示
		目標	実績			
二酸化炭素排出量削減	53610 (kg-CO ₂)	53075 (kg-CO ₂)	50843 (kg-CO ₂)	○	現在の活動を継続	現在の活動を継続
電力使用量削減	28910 (kWh)	28620 (kWh)	32263 (kWh)	×	未使用時の電源・電灯消灯	空調機器等の時間制御
ガソリン使用量削減	5985 (L)	5925 (L)	4965 (L)	○	アイドリングストップ	アイドリングストップ・積荷軽量化
軽油使用量削減	6416 (L)	6352 (L)	6194 (L)	○	効率的なルートで配送	現状維持
灯油使用量削減	626 (L)	620 (L)	330 (L)	○	暖房器具使用見直し	現状維持
都市ガス使用量削減	3863 (m ³)	3824 (m ³)	3571 (m ³)	○	暖房器具使用見直し	現状維持
廃棄物排出量						
一般廃棄物	1325 (kg)	1312 (kg)	1129 (kg)	○	分別の徹底	分別の徹底
産業廃棄物	6794 (kg)	6726 (kg)	4439 (kg)	○	作業ミスによる廃棄物の削減	作業ミスによる廃棄物の削減
節水	171 (m ³)	169(m ³)	168(m ³)	△	配管定期点検	配管定期点検(漏水等確認)
省エネ工事の受注	96 (件)	106(件)	90 (件)	△	環境にやさしい施工採用・提案	対象機器等の把握
化学物質削減	適正管理	適正管理	3180 (kg)	○	適正管理	適正管理

良く出来た○、普通△、出来なかった×

【7】環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分 の委託、管理票運用	遵守
フロン排出抑制法	フロン類の適切な処理、回収破壊工程の確認	遵守
	空調機簡易点検	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	遵守

※建設リサイクル法届出書は対象工事のみ提出

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

【8】代表者による全体の評価と見直し指示

<代表者の評価>

昨年度との比較に対して削減に努めた結果が出たと感じています。現場量によって変化があると思いますが、来年度以降資材高騰などでより廃棄する量の削減＝もったいない意識の見直しが必要になってくると考えます。結果に現れるよう通常以上の努力が必要です。

<代表者の指示事項>

項目	指示内容
環境経営方針	変更なし
環境経営計画の実施状況	二酸化炭素排出量削減への取組重視、それぞれの役割を考え行動すること。
環境関連法規	現状維持していく
その他	特になし

<今年度の苦情・要求事項>

2023年11月～2024年10月の活動期間には苦情受付はありませんでした。

<次年度の取組内容>

- ①電力の削減 未使用時の電源・電灯消灯、冷暖房機器温度設定管理、送風の活用。
- ②化石燃料の削減 急発進・急停止を避け法定速度を厳守しエコ運転に努める。
- ③産業廃棄物の削減 分別の徹底、部材の再利用、印刷物の削減。
- ④使用水量の管理 節水を徹底する。